

平成30年度の取り組みについて～先進的介護の「北九州モデル」の確立に向けて～

《 わらい 》

一介護ロボットを活用した働き方改革一

これまでの本市の取組を踏まえ、効果が見込める機器の実用化に向けて、介護現場のニーズに即した開発支援や高齢者等の多様な人材の活用策の検討等を通じて、人員配置を含む介護ロボットを活用した新たな介護現場の働き方に関する「北九州モデル」を確立する。

取組みの方向性

効果が見込める機器の絞込み

- ・ 間接介護
(見守り、記録、通信など)
- ・ 直接介護
(非装着型移乗など)

介護現場の生活空間に即した
介護ロボットの改良・開発新たな介護現場の働き方改革
(北九州モデルの構築)

心身の負担軽減、介護現場の効率化、生産性の向上、高い専門性と働きがいの向上等による「介護人材の確保」に向けた新たな働き方モデルの検討

次期介護保険事業計画に向けた
国への提案

- ・ 機器の活用 (時間短縮、協力体制づくり)
- ・ 多様な人材の活用 (高齢者等の短時間勤務者)
- ・ 介護ロボットを活用した人員配置案

《 3つの柱 》

実証・働き方モデルづくり

「介護ロボットを活用した介護現場の働き方改革
(北九州モデル) 推進事業」
(一部、厚生労働省委託事業)

開発促進

(介護ロボット開発コンソーシアムの機能強化)

人材育成

(介護ロボットマスター育成)

《 具体的な取組 》

1. 実証

- (1) 介護業務上の課題の分析
- (2) 課題解決に向けた介護ロボットの導入計画の作成
- (3) 介護ロボット活用のための導入研修
- (4) 実証評価

- ① 介護ロボットの導入効果に関する評価
- ② 全体の介護作業の有効性に関する評価

2. 介護ロボットを活用した介護の標準化

- ① 介護作業等の標準化のための介護マニュアル
- ② 介護ロボット導入マニュアル
- ③ 介護ロボットを活用した介護マニュアル

3. 介護ロボットの活用等による新しい働き方モデルの検討

(1) 広報・PR

- ① 情報発信力の強化
(ホームページリニューアル・国際福祉機器展(10月)への出展など)

② リンク情報の強化

(2) 事業報告会の充実

- ① 会員企業等と施設職員の双方向の意見交換
- ② 会員企業等向けの施設見学会の開催 ※7月20日開催

(3) 会員への支援機能の強化

- ① 介護ロボット等の実証機会の拡大
- ② 国プロジェクトや補助事業への申請等をバックアップ

(1) 講習の開催

効率的かつ効果的な介護作業の実現のために、職場における介護ロボット等の活用を推進する役割を担う専門人材の育成

(2) 講習を通じた階層別人材育成

- ① 職場において介護ロボットを使用できるレベル (初級)
- ② 介護ロボットの活用マニュアルを作成できるレベル (中級)
- ③ 介護ロボットの活用を促進し、職場全体の作業効率を高めることができるリーダーレベル (上級)